村合同敬老会
笑顔で長寿を祝う

「きょう一日を楽しんで、明日への活力にしましょう」と、語り合う高齢者たち

村の合同敬老会は九月七日、七十歳以上の対象者六百六十三人のうち約百八十人が出席、社会体育館を会場に行われました。敬老会には普代児童館園児の遊戯や歌、各地区婦人会の皆さんの手踊り、鳥茂渡小学校児童による歌や楽器演奏、普代中学校神楽同好会の中野流鵜鳥七頭舞、とりも農村青年音楽隊の演奏などが披露され、楽しいひとときを過ごしていました。

深渡宏村長は「毎日を笑顔で過ごすことが長生きの秘けつです。元気であしたの普代を築きましょう。長寿を祈念します」と、あいさつ。

村の百歳以上の長寿者、畠中オエイさん（一〇四）＝堀内＝と百歳到達長寿者の澤田タマさん＝同＝に、久慈地方振興局長の山口和彦局長から県知事記念品が贈られました。出席者で最高齢者の女性と男性には村長記念品が、また七十歳以上の高齢者の皆さんにも村から記念品がそれぞれ贈られました。

出席者の最高齢者は、女性が畠中さんで男性は旭日（あさひ）区の道下成忠さん（八九）です。

村の七十歳以上の人は、平成十五年九月一日現在で、六百六十三人（男二百五十七人女四百六人）です。

敬老会には次の方々から温かい善意がよせられました。ありがとうございます。

▼いわてくじ農協普代支店…タオル一本入…六百六十三箱　▼和山コンクリート工業㈱…一万円　▼村校長会…一万円　▼中村建設㈱…一万円　▼村婦人団体連絡協議会…五千円　▼村社会福祉協議会…五万円　▼㈱マルサ嵯峨商店…清酒二升　▼久慈地方森林組合…清酒二升

「ますます元気で長生きします」と誓い、深渡村長（右）から記念品を受ける村最高齢者の畠中さん（中央）と出席者の男性、最高齢者の道下さん（左）

特別養護老人ホームうねとり荘でも九月五日、入所者五十五人、デイサービス利用者三十人、生活支援ハウスから八人の九十三人が参加し敬老会が行われました。

堀内児童館園児の遊戯や歌、続いて宮古霞会ショーの手踊りなどが披露されると、祝いに駆け付けた家族などとともに長寿を喜び合っていました。

健康福祉まつり
さまざま学んで体さわやか

健康福祉まつりは九月二十九日、保健センターを主会場に、村（深渡宏村長）、社会福祉協議会（佐藤勲会長）主催で行われ、第一部は介護用品の展示、介護のビデオ放映、うねとり荘デイサービス、村リハビリ教室の作品展示、骨密度測定やヨーガ教室などが、第二部では「小久保晴代のいきいき簡単健康法」と題して講演会が開かれ約四百人の人でにぎわいました。

健康まつりでは、子どもや障害を持つ人、持たない人、すべての住民が楽しく生活でき健康寿命を延ばすことを学び合いました。

体脂肪測定、運動身体チェクや糖尿病予防食の展示と予防相談、在宅介護相談、国保連によるよろず相談は血液さらさら診断が行われ、参加者たちは「私の血液はさらさらですか」など質問し、体について再認識していました。

「体にいいことしましょうね」と笑みを交わす参加者たち

カンガルークラブ（藤島明美代表、メンバー十三人）の活動展示やフリーマーケット、はまゆりグループ（照井トミ代表、会員六人）が出店したサケの切り身、田楽、海産物の販売も好評。食生活改善推進委員（上方テイ代表）の用意したうどん、そばの試食三百食はあっという間に品切れする大盛況でした。

二部の講演会「小久保晴代のいきいき簡単健康法」は、体を動かしながら健康について講演。参加者たちは笑みを浮かべながら、楽しそうに指導に従って体を動かし、講演に聴き入っていました。

健康相談で安心